

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 5月21日更新

事務事業名	小中学校運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 栗木 清智
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名 中山 大志
	施策の柱	36 義務教育施設の整備	所属班	学務指導班	(内線) 5326
予算科目	会計 一般	款 10 項 1 目 3	事業連番	10728 他	根拠 法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	小中学校運営に必要な経常的維持運営を行い、教育活動を効果的に実現する。
【業務の流れ】	【業務の流れ】 学校必要経費の発注・支払事務(一般用消耗品、管理用消耗品、その他消耗品、普通旅費、光熱水費(電気・水道・ガス・灯油他)、備品・機器補修、通信運搬費(電話・インターネット)各種検査手数料、クリーニング手数料、楽器調律手数料、廃棄処理手数料、薬物処理手数料、消火器詰替え手数料、ケリストアップ清掃手数料、ソフト更新手数料、ろ過フィルター交換手数料、各小中学校の印刷機、コピーパフォーマンスチャージ料、車借上げ料、放送受信料・管理用備品購入等)
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	学校事務職員より、会計処理について規定がわかりづらいものがあると相談があっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現した。 【基準に達しなかった理由】(10730 学務指導班 中学校)生徒の緊急輸送用等で車両の借上料を計上しているが案件が発生しなかったため。	小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 小学校における予算執行率 %	新設校の開校に伴う報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費の増
→ イ: 中学校における予算執行率 %	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市立小学校 8校、市立中学校 4校	(単位)
	→ ア: 市内小学校数 校
	→ イ: 市内中学校数 校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
学校維持運営に必要な、消耗品等購入、機器のリース、各種手数料等について効果的・効率的に執行し円滑な学校維持運営を行い、教育活動の効果的な実現を図る。	(単位)
	→ ア: 学校の教育環境が整っていると感じる児童の割合 %
	→ イ: 学校の教育環境が整っていると感じる生徒の割合 %
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠	
小中学校の維持運営経費を適正に支出することにより、教育環境を整えるため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	30年度	31年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア %	96.95	93.93	96	97.42	96	96	96	96
	イ %	95.18	95.1	96	92.21	96	96	96	96
② 対象指標	ア 校	7	7	7	7	8	8	8	8
	イ 校	3	3	3	0	4	4	4	4
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	国庫支出金	千円				19,526			
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	5,522	2,183	2,480	56	2,480	2,400	2,400
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	187,696	182,718	241,950	226,238	225,538	295,823	295,823
	(A) 事業費計	千円	193,218	184,901	244,430	245,820	228,018	298,223	298,223
	(A)のうち指定経費	千円	3	3	4	3	4	4	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	9	8	5	8	5	5	5
延べ業務時間	時間	4,450	3,835	4,000	4,110	4,000	4,000	4,000	
(B) 人件費計	千円	17,541	15,198	15,936	16,205	15,936	15,936	15,936	
トータルコスト(A)+(B)	千円	210,759	200,099	260,366	262,025	243,954	314,159	314,159	314,159

事務事業名	小中学校運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学校運営に必要な経費の支出を円滑に行うことで、目標を達成することができる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果の向上余地はないが、現状を維持していくためには事業の継続は必要である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費であり削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人又は団体が利益を得るものではない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市立学校に要する経費であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現していく必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) <b>現状維持</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					